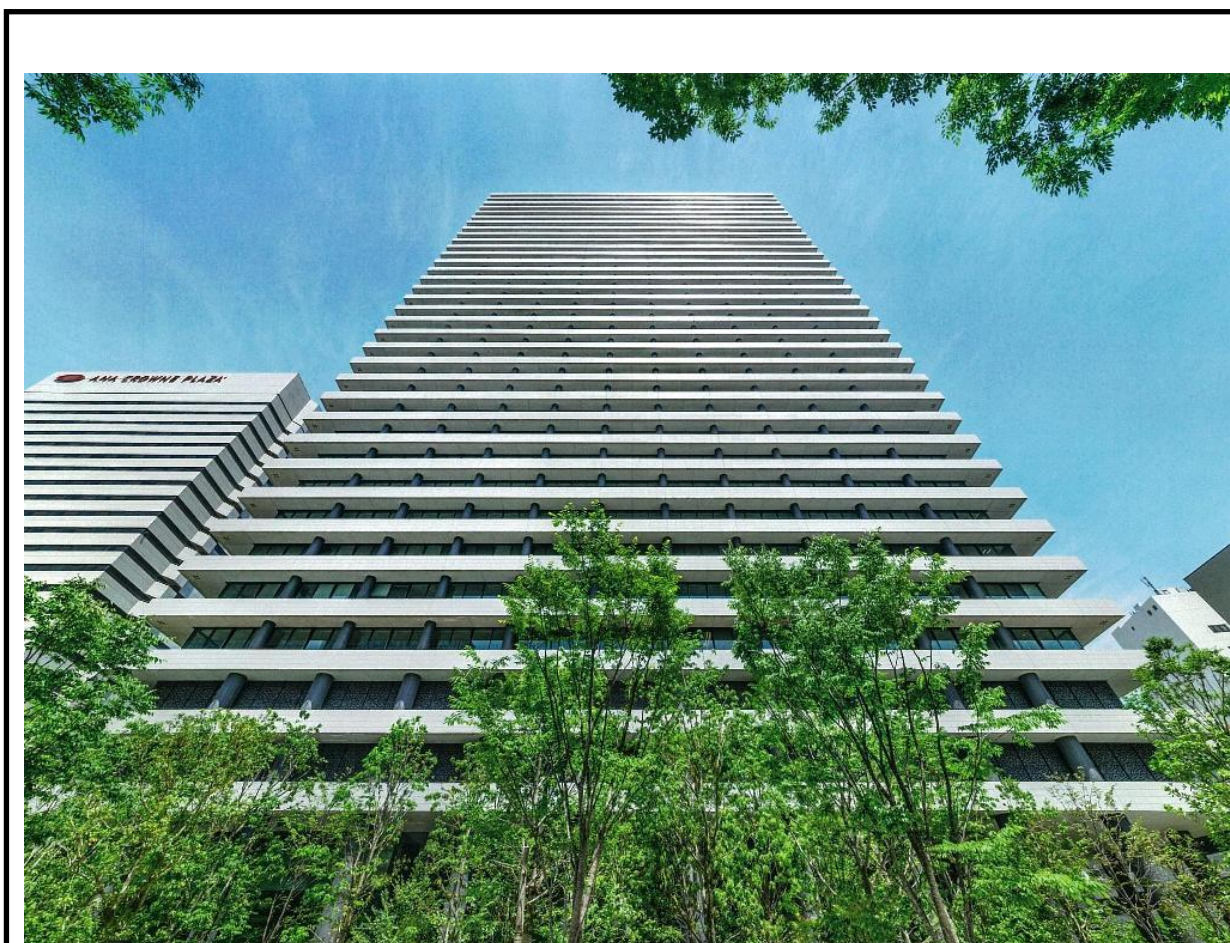


新ダイビル

1,000 坪の緑地「堂島の杜」と大庇を持つ
環境親和型ランドマークビル

所在地	大阪市北区堂島浜 1-2-1					
建築主	ダイビル株式会社					
設計者	株式会社 日建設計					
用途	事務所、店舗					
敷地面積	8,426.76 m ²					
建築面積 (建ぺい率)	3,084.38 m ² (36.61%)					
延べ面積 (容積率)	77,388.49 m ² (781.02%)					
構造	S造、一部SRC造、RC造					
階数	地上31階 / 地下2階					
CASBEE ランク	S	BEE 値	3.5			
大阪市の 重点評価	CO2 削減	4.0	省エネ 対策	4.0	みどり・ヒート アイランド対策	4.0



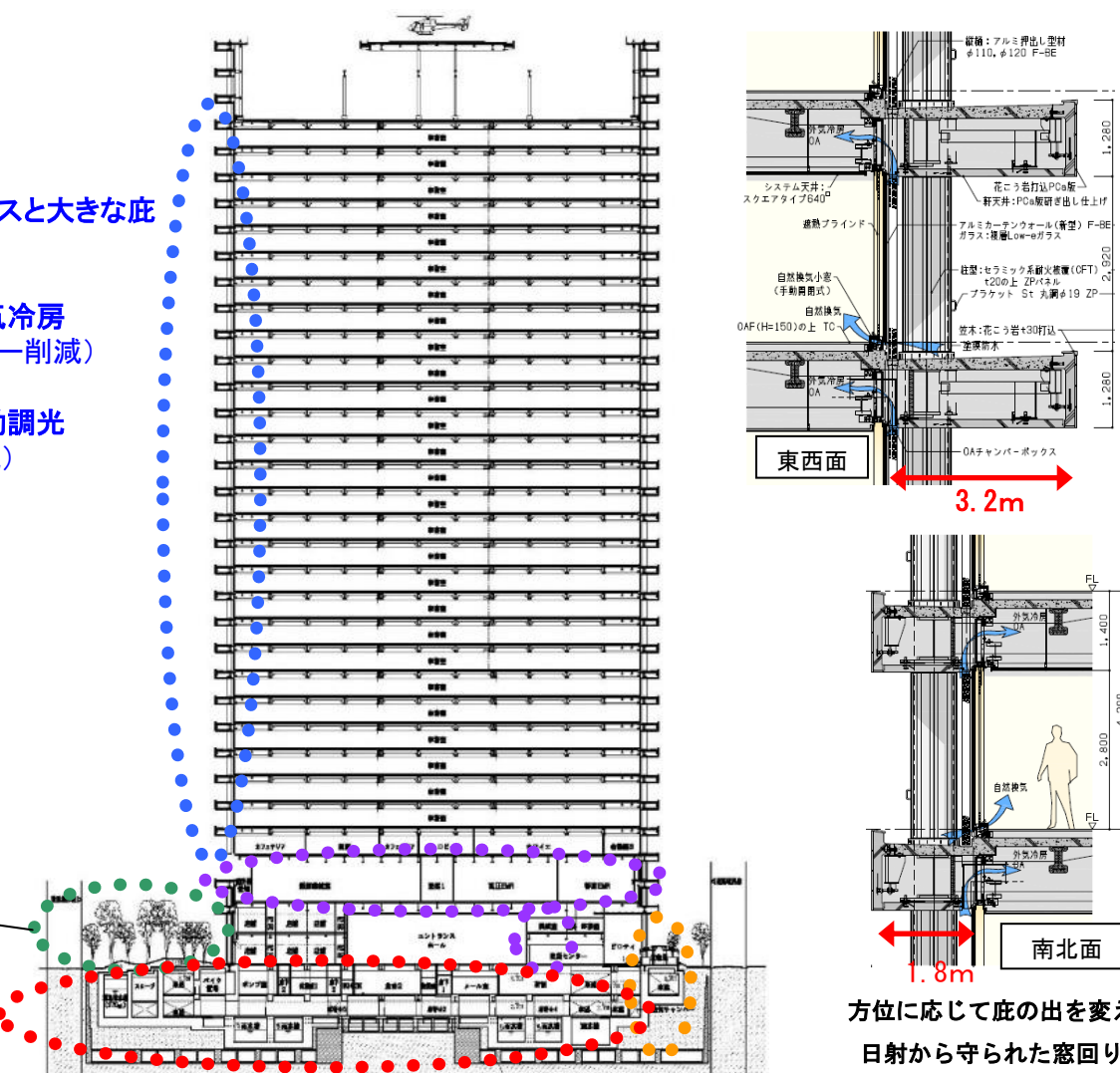
緑豊かな「堂島の杜」と、空中に積層された石張りの大庇
深い庇を主要モチーフとすることで、環境配慮の姿勢を外観にも表している

堂島川の北岸で、日本銀行大阪支店と川を挟んで向かい合う立地にある。
目の前には堂島川の水面と中之島の緑が広がり、オフィスフロアからは水都・大阪を象徴するパノラマビューを望むことができる。
北側には北新地・梅田地区が広がり、西側にはホテルが隣接する。

- 横基調の優美な外観と大規模な屋上樹苑によって永く親しまれた旧・新ダイビルの建て替えに当たり、旧ビルの持っていた価値を現代に継承することをテーマに、豊かな眺望と緑に包まれ、自然と一体化した、高い快適性と先進性が融合するオフィスビルを目指した。
- 屋上緑化の先駆けである旧ビル屋上樹苑を継承し、ビル足元に1000坪の緑地「堂島の杜」を計画。旧樹苑より一部の樹木を移植。
- 基準階オフィスフロアはアウトフレームとし、内部に柱の一切ない使い勝手の良い内部空間とした。また、空調負荷を抑制しつつ恵まれた眺望をブラインドレスで最大限享受できるよう、南北1.8m、東西3.2mの出を持つ大庇を設け、省エネルギーとオフィスの快適性を実現している。

建物断面構成図

- ・高効率熱源システム
(超高効率機種の採用)
- ・エネルギー情報提供システム
- ・水の再利用
(雨水再利用)
- ・大温度差送水システム
(ポンプ動力削減)
- ・低温送風システム
(ファン動力削減)
- ・外気量制御
(CO2制御による外気量適正化)
- ・1000坪の緑化計画
(ヒートアイランド抑制)
- ・建設材料の再利用
(既存地下躯体利用による廃棄物抑制)
- ・Low-Eペアガラスと大きな庇
(熱負荷削減)
- ・自然換気と外気冷房
(空調エネルギー削減)
- ・自然採光と自動調光
(照明電力削減)



方位に応じて庇の出を変え
日射から守られた窓回り